

100周年記念

2017年は日本バラ切花生産100周年



1917年(大正6年)猿棒忠恕氏により、現在の大阪でアメリカ式温室栽培が行われたのが、日本におけるバラ切花営利栽培の始まりとされています。

100年前、小さな温室から始まったバラの切花生産は、年間約3億本生産・流通されるまでに成長しました。

多様化するニーズや日本人のニーズに合わせた品種の育種や、海外ブリーダーからの選定が進み、海外のどの国よりも多種多様なバラが流通されています。

こうして現在の日本では、切花バラの色彩の豊かさや芳しい香りを楽しむ事が出来るようになりました。



100th Anniversary of cut rose production in Japan

バラのお手入れ方法

花器をきれいに洗いましょう

バクテリアの繁殖を防ぎ、水をきれいに保つには、柔らかいスポンジと洗剤が効果的。

清潔で良く切れるハサミやナイフで茎を斜めにカットします

切れないハサミや紙切りバサミを使用すると切口(導管)がつぶれて空気が入り、水の上がが悪くなります。

鮮度保持剤を適正量使用しましょう

花が咲くための栄養となる糖分と、バクテリアの繁殖を抑える抗菌剤が含まれています。

余分な葉は取り除きましょう

バクテリアの繁殖を抑え、蒸散を抑えることができます。

風や光が直接あたり、高温になる場所は避けて飾りましょう

涼しい場所でも、エアコンの風が直接当たる場所に置くと乾燥してしまいます。

毎日お手入れをしましょう

傷んだ花や葉は取り除き、茎の切戻しをします。
愛情たっぷりお手入れをしてください。

